

# 2009年度 情報検索応用能力試験

## 2級 試験問題(前半)

### 注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、13：15～14：45の90分間です。
4. 中途退席できる時間は、14：00～14：30の30分間です。  
一旦退席すると、前半の試験終了まで再入場はできません。
5. 問題は12問、全17ページ、解答用紙は4ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。  
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。

問1 次の表はデータベースをその適用分野ごとに整理したものである。(A)～(J)にあてはまるデータベースを解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

分野	データベース
科学技術全般	Current Contents、 <input type="text" value="(A)"/> 、 <input type="text" value="(B)"/>
特許	IPDL、 <input type="text" value="(C)"/> 、 <input type="text" value="(D)"/>
化学・化学工学	CAplus、 <input type="text" value="(E)"/> 、 <input type="text" value="(F)"/>
医学・薬学	MEDLINE、 <input type="text" value="(G)"/> 、 <input type="text" value="(H)"/>
ビジネス情報	PROMT、 <input type="text" value="(I)"/> 、 <input type="text" value="(J)"/>

解答群

1. ABI/INFORM	2. AGRIS International	3. ASPP Online
4. BEILSTEIN	5. Biosis Previews	6. DWPI
7. EMBASE	8. ERIC	9. GeoRef
10. Global Issues in Context		11. ICONDA
12. JSTPlus	13. KIND	14. LISA
15. MathSciNet	16. PATOLIS	17. REGISTRY
18. SciSearch	19. Thomas Register Online	20. WORLD TEXTILES

問2 以下は、複数ファイルを同時に検索する機能についての記述である。空欄 (A) ~ (J) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

複数のファイルを同時に検索する機能を、Dialog では (A)、 (B) では (C) 検索という。

Begin コマンドや (D) コマンドのあとに、ファイル番号やファイル名を、カンマやスペースで区切って入力することで複数ファイルを指定できる。Dialog では DIALINDEX の (E) を、 (B) では (F) を用いても複数ファイルの指定ができる。

通常、複数ファイルの検索結果は、指定したファイルのヒット件数の合計が表示されるので、ファイルごとの件数を知るためには、以下の操作を行う必要がある。

Dialog では (G) と入力すると件数が表示され、 (B) では、検索前に (H) を入力しておく、個別ファイルの件数と合計件数が表示される。

また、似たような分野のファイルを指定して検索すると、別々のデータベースに収録されている同じ文献がヒットすることがあるので、下表のような重複文献を処理するコマンドが用意されている。

機能	Dialog	(B)
重複文献を除去した集合を作成	(I)	(J)
重複文献は識別されるが除去はされない	ID	DUP IDE
重複文献のみの集合を作成	IDO	DUP ONL

#### 解答群

1. D HIS FULL	2. DS Sn FROM EACH	3. DS Sn FROM FILE
4. DR	5. DUP DEL	6. DUP REM
7. FILE	8. IDPAT	9. OneSearch
10. QUESTEL	11. RD	12. Search
13. Select	14. Select Steps	15. SET DETAIL ON
16. SET MSTEPS ON	17. SET STEPS ON	18. STN
19. STNIndex	20. カテゴリー	21. ファイルクラスター
22. マルチファイル		

問3 以下はデータベースまたは検索サイトである。(A)～(H)と最も関連の深い語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) DWPI
- (B) esp@cenet
- (C) D&B Dun's Market Identifiers
- (D) REGISTRY
- (E) EMBASE
- (F) BRANDY
- (G) CHEMLIST
- (H) MEDLINE

解答群

- |                           |              |                  |           |
|---------------------------|--------------|------------------|-----------|
| 1. CNRS                   | 2. Connexion | 3. Derwent Class | 4. EMTREE |
| 5. epoline                | 6. ERIC      | 7. IEEE          | 8. JAS 規格 |
| 9. Locarno Classification | 10. MeSH     |                  |           |
| 11. Molecular Formula     | 12. PAIR     | 13. SIC code     |           |
| 14. SMTP                  | 15. TSCA     | 16. UNITERM      | 17. 日化辞番号 |
| 18. 類似称呼                  |              |                  |           |

問4 以下はデータベース（システム）に関する説明である。（A）～（I）にあてはまる最も適切なデータベース（システム）を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 米国学位論文と英国博士論文が検索できる
- (B) 逐次刊行物についての情報を収録する情報源であり、同名の印刷体出版物がある
- (C) 教育に関する資料および雑誌記事を収録している
- (D) SEC に提出された米国の株式公開企業の財務データが入手できる
- (E) 国内の雑誌から医薬品の安全性、有効性などに関する文献を収録している
- (F) 通常の検索に加えて、引用文献からも検索が可能。Thomson Reuter が直接利用者に提供しているシステム
- (G) 科学技術情報機構（JST）が作成する有機化合物辞書データベース。構造検索ができる
- (H) 世界の新聞記事が検索できる
- (I) D-U-N-S 番号を収録する、ヨーロッパ 58 カ国の企業名鑑

解答群

- |   |                        |
|---|------------------------|
| 1. D&B-European Dun's Market Identifiers      |                        |
| 2. D&B-International Dun's Market Identifiers |                        |
| 3. Dialog NewsRoom                            | 4. Disclosure Database |
| 5. Dissertation Abstracts Online              | 6. DPCI                |
| 7. EDI  | 8. ERIC                |
| 9. Federal Register                           | 10. JAPICDOC           |
| 11. JCHEM                                     | 12. JSTPlus            |
| 13. MARC                                      | 14. PsycINFO           |
| 15. SciSearch                                 | 16. Thomas Register    |
| 17. Ulrich's Periodicals Directory            | 18. Web of Science     |
| 19. 医中誌 Web                                   | 20. 日化辞 Web            |

問5 以下の(A)～(G)は著作権にかかわる動向についての記述である。(A)～(G)について各々1～2のいずれか適切な記述を選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

(A) 2009年6月12日に成立した改正著作権法では、検索エンジンのキャッシュや、データバックアップのためのキャッシュについて

1. 著作権者の許諾が必要である
2. 著作権者の許諾を得ずに行える

(B) 2009年6月12日に成立した改正著作権法の施行後、検索事業者が日本国内にキャッシュサーバを置くことは

1. 適法となる
2. 違法となる

(C) 前身はGoogle Printというプロジェクトであった

1. Google なか見！検索
2. Google ブック検索

(D) Google Printプロジェクトにおいてグーグルは

1. 著作権者に許諾を得ずに書籍をスキャンしていたため、著作権侵害に当たるとして米国で集団訴訟(クラスアクション)を起こされた
2. 著作権者に事前許諾を受けたものだけをスキャンしていたため提供数が増えなかった

(E) 米国は1989年にこの条約に加盟した

1. ベルヌ条約
2. パリ条約

(F) 同じく同条約に加盟している日本で出版された書籍は、米国において

1. 米国の管理団体に委託することで著作権が保護される
2. 米国での出版実績にかかわらず米国における著作権を有している

(G) 日本複写権センター構成4団体のうちのひとつ出版者著作権協議会(出著協)から改組した出版者著作権管理機構は、2009年7月1日、株式会社日本著作出版権管理システム

1. に使用料徴収事業を委託した
2. から著作権等管理事業者の資格を承継した

問6 以下は代表的な情報流通機関に関する記述である。空欄（A）～（J）にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

二次情報データベースの多くは従来（A）、（B）などの（C）からまとめて提供されてきた。これはオンライン検索システムの開発と維持および営業には多額の費用がかかり、個々の（D）には荷が重かったためである。

しかしインターネットが普及し、（E）と（F）の価格が低下すると、検索サービスの提供は極めて簡単・安価になり、多くの（D）が独自のオンラインサービスを提供するようになった。これらは主としてエンドユーザーをターゲットとしてサービスされており、簡単で使いやすいインタフェースを特徴としている。

現在、主要な学術論文はほとんど（G）としてアクセス可能となっている。一方、中小の出版社や学会の場合は（H）と呼ばれる（C）からまとめて提供されることが多い。このような（H）には（I）や SWETS のような取次業者タイプと、（J）、J-STAGE などのプラットフォーム提供タイプがある。

解答群

- |                      |                       |                   |
|----------------------|-----------------------|-------------------|
| 1. Dialog            | 2. EBSCO              | 3. HighWire Press |
| 4. OPAC              | 5. SaaS               | 6. SpringerLINK   |
| 7. STN               | 8. Wiley InterScience | 9. アグリゲータ         |
| 10. インターネットサービスプロバイダ |                       | 11. サーバ           |
| 12. ソフトウェア           | 13. データベース製作者         | 14. パソコン          |
| 15. リンク・リゾルバ         | 16. 記憶装置              | 17. 機関リポジトリ       |
| 18. 情報提供者            | 19. 電子ジャーナル           | 20. 光ファイバ         |

問7 以下は情報の流通に関する記述である。空欄 (A) ~ (I) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

リンク切れは、Web 上の情報においていまだに続く問題である。学術出版社がジャーナルをオンライン化し始めた頃に、が設立された理由のひとつとして、このリンク切れの問題があった。

現在、電子ジャーナルなどの全文記事の多くには、DOI という が付与されている。DOI は、が運営しており、は、最大の DOI 登録機関である。DOI によって、そのコンテンツのインターネット上の場所への持続的で安定したリンクが実現されている。

DOI の技術自体は米国の が始めたものである。DOI のおかげで完全ではないにしろ、大部分のリンク切れの問題が解決できている。

DOI は、接頭辞 (prefix) または と、接尾辞 (suffix) からなっている。接尾辞は一般的には と からなっている。DOI は論文以外に、書籍の章や論文中の章、データベースのレコードにも付与することができる。現在では、や も に加盟し、DOI を活用している。

解答群

1. Blog	2. CNRI	3. CrossRef	4. error
5. IDF	6. IMF	7. IP アドレス	8. ISBN
9. ISO	10. ISSN	11. Reflink	12. Yahoo!
13. YouTube	14. 記事コード	15. 国際情報標準化機構	
16. 雑誌コード	17. 識別子	18. 出版社コード	19. 新聞社
20. タグ	21. データベース製作者	22. 特許庁	

問8 以下はインターネットや通信、コンピュータ関連技術に関する用語の説明である。  
(A)～(J)にあてはまる最も適切な用語を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 文字や画像を画面上に配置するためのマークアップ言語の一つである。インターネットのWebページの作成にも使われる。
- (B) インターネットに一時的に接続するコンピュータに、IPアドレスなど必要な情報を自動的に割り当てるプロトコル。クライアントが通信を終えると自動的にアドレスを回収し、他のコンピュータに割り当てる。
- (C) テキスト、画像、音声、動画、プログラムが不正利用されることを防ぐために、データ内に著作権や版権、コピー回数を電子データ化して埋め込む。専用のソフトウェアによって、情報を読み取ることができる。
- (D) 公衆回線をあたかも専用回線であるかのように利用できるサービス。企業内ネットワークの拠点間接続などに使われ、専用回線を導入するよりコストを抑えられる。
- (E) データが正しくやりとりされたかどうかをチェックする方法の一つ。送信するビット列に対して1ビットの誤り検出用のビットを0や1にして付加する。奇偶検査ともいう。
- (F) ソフトウェアの機能のうち、ユーザが必要とするものだけをサービスとして配布し利用できるようにしたソフトウェアの配布形態。サービス型ソフトウェアとも呼ばれる。
- (G) 通常の電話回線を用い、電話の音声伝送には使わない高周波数帯を使ってデータ通信を行う。アナログ電話とデータ通信とで使用する周波数帯を分けることで、両者の同時使用が可能となる。  
下り（電話局→利用者）の通信速度が、上り（利用者→電話局）よりも速い点に特徴がある。
- (H) ウェブログ(ブログ)の機能の一つで、別のウェブログへリンクを張った際に、リンク先の相手に対してリンクを張ったことを通知する仕組みのこと。
- (I) 認証時に利用するユーザ固有の情報として、ユーザの肉体的な特徴（指紋・虹彩など）を利用すること。
- (J) Webサイトやメールマガジンなどが企業サイトへリンクを張り、閲覧者がそのリンクを経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、リンク元サイトの主催者に報酬が支払われるという広告手法。

解答群

- |               |                |             |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. ADSL       | 2. DHCP        | 3. HDLC     |
| 4. HTML       | 5. IP マスカレード   | 6. ISDN     |
| 7. LAN        | 8. RSS         | 9. SaaS     |
| 10. SNS       | 11. VPN        | 12. アフィリエイト |
| 13. トラックバック   | 14. ハミング符号チェック |             |
| 15. バイオミメティクス | 16. バイオメトリックス  |             |
| 17. パリティチェック  | 18. フィンガープリント  |             |
| 19. プロキシ      | 20. 電子透かし      |             |

問9 以下はデータベース検索に関する記述である。(A)～(J)にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 2つのキーワードの位置関係を指定して行う検索。
- (B) 用語を、階層関係、部分・全体関係、同義・類義関係などによって分類し、体系づけた辞書。
- (C) 索引語を切り出す方法の一つで、文章の先頭から2文字ずつのフラグメントを切り出すもの。
- (D) 検索キーワードの一部を任意の文字列として指定する方法。前方一致、後方一致、中間任意などがある。
- (E) 検索で得られた適合レコードと、データベースに収録されている全適合レコードとの比率。
- (F) ディスクリプタと組み合わせて、使用するディスクリプタの意味を限定する。これを利用することで検索ノイズを低減できる。
- (G) 複数の文書を相互に関連付け、結び付ける仕組みである。テキストを超えるという意味から名付けられた。
- (H) ヒットした検索語の前後の若干の語を表示する方法。
- (I) データベースなどの検索で得られた論文の入手方法、最適入手経路を示すシステム。既存の図書館システムや主要学術ベンダーシステムの適切コピーの問題点を解決する手法として普及しつつある。
- (J) ユージン・ガーフィールド (Eugene Garfield) が 1955 年に考案したもので、トムソン・ロイターの文献データベースに収録される引用データを元に算出している。対象となる雑誌は自然科学 5,900 誌、社会科学 1,700 誌である。

解答群

- |             |                |                |
|-------------|----------------|----------------|
| 1. KWIC     | 2. インパクト・ファクター | 3. コマンド方式      |
| 4. シソーラス    | 5. ソート機能       | 6. トランケーション    |
| 7. バイグラム方式  | 8. ハイパーテキスト    | 9. ハイパーリンク     |
| 10. ハイライト   | 11. ブール演算      | 12. プロトコル      |
| 13. メニュー方式  | 14. リンク・リゾルバ   | 15. ロール・インジケータ |
| 16. 機関リポジトリ | 17. 近接演算       | 18. 形態素解析      |
| 19. 再現率     | 20. 精度         | 21. 統制語        |

問 10 次ページの図 (A) ~ (E) は JDreamII を使用して「地デジ」について検索した際に参照した画面である。

以下の (A) ~ (E) の 1 ~ 3 は、各画面にかかわること、およびそこから読み取れることをそれぞれ述べている。この中に誤った記述がある場合は該当する番号をすべて、誤った記述が無い場合には 4 を、解答欄に記入しなさい。

(A) 索引語の詳細説明画面

1. 索引語「地デジ」は完全な統制語である
2. モレを少なくするために同義語をすべて選択した
3. シソーラス用語だけで「地デジ」を検索する式の例として「地上波伝搬 AND デジタル方式 AND テレビジョン放送」が考えられる

(B) 簡易入力画面

1. 解説と文献レビューを併せて検索したい
2. 日本で発行された文献に限る
3. 古くても去年以降に発行されたものが欲しい

(C) 検索コマンド履歴画面

1. 解説と文献レビューの合計が文献全体の 5% 弱だと判断するのは間違いである
2. シソーラス用語を使っていない
3. ヨミガナは著者名以外の索引語にはないから入力していない

(D) L 2 集合に対する機関名頻度分析画面

1. 放送局と電機メーカーに所属している人以外の著者はいない
2. 富士通とフジテレビは共同研究をしている
3. 116 件の文献中に機関名は 74 種類でくる

(E) L 2 集合に対する資料名頻度分析画面

1. 上位 10 件中に外国雑誌はない
2. 機関名による頻度分析の場合よりも出現頻度に偏りがある
3. 商業誌ばかりである

(A) 索引語の詳細説明

索引語	地デジ
英語表記	digital terrestrial broadcasting
種別	準シソーラス用語

検索語入力エリアに反映

同義語で検索範囲を広げる サブヘディングで検索範囲を絞り込む

下記の同義語を検索に加える

- 以下をすべて選択
- 地上デジタルテレビジョン放送
- 地上デジタルテレビ放送
- 地上デジタル放送
- 地上波デジタルテレビジョン放送
- 地上波デジタルビデオ放送
- 地上波デジタル放送
- DVB-T

検索語入力エリアに反映

「地デジ」に関連しているシソーラス用語  
クリックするとその語の索引語画面に切り替わります

上位シソーラス用語群	テレビジョン放送
関連シソーラス用語群	地上波伝送 デジタル方式

(B) 簡易入力

検索条件簡易入力項目 条件セット 条件クリア

検索範囲	<input type="checkbox"/> 索引付き最新登録のみ	<input type="checkbox"/> 未索引を除く	<input type="checkbox"/> 抄録付き文献のみ
発行年	From: 2008 ~ To: 指定しない		
	○ 最新3年 ○ 最新5年 ○ 最新10年		
言語	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語	<input type="checkbox"/> 英語	<input type="checkbox"/> ドイツ語
	<input type="checkbox"/> オランダ語	<input type="checkbox"/> スペイン語	<input type="checkbox"/> 中国語
	<input type="checkbox"/> フランス語	<input type="checkbox"/> ロシア語	<input type="checkbox"/> 韓国語
記事区分	<input type="checkbox"/> 原著論文(a1)	<input type="checkbox"/> 短報(a2)	<input checked="" type="checkbox"/> 文献レビュー(b1)
	<input checked="" type="checkbox"/> 解説(b2)	<input type="checkbox"/> 会議録記事(d2)	<input type="checkbox"/> 紹介的記事(d3)

(C) 検索コマンド履歴

FILE	JSTPlus	
L1 SEARCH	"地デジ"/AL OR "地上デジタルテレビジョン放送"/AL OR "地上デジタルテレビ放送"/AL OR "地上デジタル放送"/AL OR "地上波デジタルテレビジョン放送"/AL OR "地上波デジタルビデオ放送"/AL OR "地上波デジタル放送"/AL OR "DVB-T"/AL	2,374
L2 SEARCH	L1 AND (PY>=2008) AND (JA/LA) AND (b1/DT OR b2/DT) AND (JPN/CY)	116

(D) L2に対する機関名頻度分析

所属機関名/団体著者名(CS) このまでの抽出結果を削除

実行 1ページあたり 10件

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

74件が抽出されました(#1-#74) ← この抽出分をすべて選択

#	L番号	コード	カウント数	抽出結果
#1	L2	CS	7	東芝
#2	L2	CS	4	マルチメディア振興会
#3	L2	CS	4	中部日本放送
#4	L2	CS	3	NHK放送技術
#5	L2	CS	3	テックビジョン
#6	L2	CS	3	富士通
#7	L2	CS	2	NEC
#8	L2	CS	2	NHK
#9	L2	CS	2	フジテレビジョン
#10	L2	CS	2	三菱電機

[前の見出し] [次の見出し] [前の10件] [次の10件]

(E) L2に対する資料名頻度分析

資料名(JT) このまでの抽出結果を削除

実行 1ページあたり 10件

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

52件が抽出されました(#1-#52) ← この抽出分をすべて選択

#	L番号	コード	カウント数	抽出結果
#1	L2	JT	15	映像情報メディア学会誌
#2	L2	JT	13	トランスファ技術
#3	L2	JT	6	ITJジャーナル
#4	L2	JT	6	ビジネスコミュニケーション
#5	L2	JT	6	月刊MATERIAL STAGE
#6	L2	JT	6	東芝レビュー
#7	L2	JT	4	IBC技術報告会
#8	L2	JT	4	映像テレビ技術
#9	L2	JT	3	OHM
#10	L2	JT	2	FUJITSU

[前の見出し] [次の見出し] [前の10件] [次の10件]

問 11 以下は STN Keep & Share プログラムに関する記載である。(A) ~ (F) のうち、STN Keep & Share の申込みが必要な場合には解答欄の「要」に○、不要な場合には解答欄の「不要」に○を記入しなさい。

The STN Information Keep & Share Program provides an easy way to:

- Store (archive) STN search results for future access and for others within a worldwide organization
- Distribute (redistribute) electronic or paper copies of STN search results to others within an organization.

[Features and benefits]

With the STN Information Keep & Share Program, purchase the right to archive and redistribute search results from STN databases. The use policy of each STN database states what may be done with database records without further payment. Rights to keep and/or share the STN records in excess of the use policy may be purchased with the STN Information Keep & Share Program.

	ARCHIVE	REDISTRIBUTE
CA ***	Yes	Yes
CAPLUS ***	Yes	Yes

\*\*\* ARCHIVE purchase required only if your worldwide organization exceeds archive of more than 50,000 CAS records in one calendar year; REDISTRIBUTE purchase required only if you redistribute search results to more than 50 users in your work group and/or more than 5 users outside your work group in your worldwide organization;

[Authorized Use of CAS Information]

○The building of searchable Project directories or Databases for use by individuals and Project teams is permitted. Each User is permitted to download and retain a maximum of 5,000 Records at any given time for personal use or to share within a Project team for the life of the Project. These Records may be obtained from more than one CAS product as long as the 5,000 limit/User is not exceeded.

○An Information Professional may retain copies of search results delivered to Users as Backup for a period not to exceed 1 year or the maximum period required by the organization's record retention policies.

\*Project: A research endeavor of defined scope, staffing, and limited duration.

- (A) 検索で得られた CA のレコードを 3 年間保存した。
- (B) 検索で得られた CA のレコードを 28 人のプロジェクトメンバーに配布した。
- (C) 検索で得られた CA のレコードを全社で合計 7 万件蓄積した。
- (D) 検索で得られた CA のレコードを 3,000 件ダウンロードし、検索可能なデータベースを構築した。
- (E) 同じ業務チームではないが、社内の研究員 8 人に検索で得られた CA のレコードを提供した。
- (F) 検索で得られた CA のレコードを 15 人のプロジェクトで共有しているが、このプロジェクトは近い将来、そのまま事業部になる予定である。

問 12 以下は STN の Command Quick Reference Card からの抜粋である。空欄 (A) ~ (J) にあてはまる最も適切な語句、もしくは説明文を解答欄から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

Use this command:	When you want to:
(A)	Scan two or more databases or a cluster of databases for topics before you search them.
FILE	(B)
EXPAND	(C)
(D)	Perform a search. If you do not append a search code, the search is performed in the Basic Index.
(E)	Extract terms and search them in a single step.
DISPLAY	Display answers. Non-consecutive answer numbers must be separated by commas or spaces. For a list of fields that may be displayed, enter HELP DFIELDS at an arrow prompt in the database.
(F)	Purchase the right to redistribute STN search results for up to n users within your worldwide organization.
SELECT	(G)
ANALYZE	(H)
SAVE	(I)
(J)	Request that current-awareness searches be run automatically when a database or a set of databases is updated.

## 解答群

- |            |            |                   |                  |
|------------|------------|-------------------|------------------|
| 1. ARCHIVE | 2. DISPLAY | 3. DISPLAY BROWSE | 4. DUPLICATE     |
| 5. HELP    | 6. INDEX   | 7. LOG H          | 8. LOG Y         |
| 9. NEWS    | 10. ORDER  | 11. PRINT         | 12. REDISTRIBUTE |
| 13. SDI    | 14. SEARCH | 15. SET           | 16. TRANSFER     |
17. Browse through an answer set. You can view consecutive answers, non-consecutive answers, change formats, and view additional answers without re-entering the DISPLAY command.
  18. Display current news headlines on STN. To see a specific news item, enter NEWS followed by the number or name of the news item at the arrow prompt. To see current content information for a database, enter NEWS FILE at an arrow prompt in the database.
  19. Enter a database or cluster to search or display answers.
  20. Extract terms from display fields and provide statistical analysis. For a list of fields that may be used, enter HELP EFIELDS at an arrow prompt in the database.
  21. Extract terms from display fields that can then be used as search terms. For a list of fields that may be used, enter HELP EFIELDS at an arrow prompt in the database.
  22. Look at the neighboring terms in a search field to verify that it is a valid search term. Twelve terms are shown by default. To continue down the same index, enter E <RETURN>. If you do not append a search code, the Basic Index is used.
  23. Order a document from a document supplier. For a list of suppliers, enter HELP ORDER SUPPLIER at an arrow prompt.
  24. Print answers offline or deliver them to an e-mail address.
  25. Remove or identify duplicate records from one or more answer sets.
  26. Request that current-awareness searches be run automatically when a database or a set of databases is updated.
  27. Save an L-number query, answer set, or list in your long-term storage. A monthly fee is charged for saved items. You must enter an L-number and a name ending in /Q for a query, /A for an answer set, or /L for an L-number list.
  28. Set various terminal parameters and options. When you SET a parameter, it remains in effect until you log off or modify the SET parameter. For a list of SET commands, enter HELP SET at an arrow prompt.
  29. Temporarily end your online session and hold the entire session for 120 minutes at no charge.